



どんどん
増える!

多摩市
ウォールアート
プロジェクト

www.wallart-project.com

多久のアートを探しに行こう!

28箇所

多久の中心市街地には、現在ウォールアートがあります。

どんどん
増える!

多久市ウォールアートプロジェクトとは?

佐賀県多久市の中心市街地に大きなウォールアート（壁画・シャッターアート）を創設し、まちなかに明るさと賑わいをつくるアートプロジェクト。2015年12月にスタートした本プロジェクトは、市内外から様々な分野のアーティスト（画家）を招聘し、誰でも・いつでも・自由に・且つ無料で観覧できるパブリックアートを継続的に創設してきました。（2019年現在31箇所が完成）ウォールアートの目的と役割は、まちなかの交流人口を増やすこと、老朽化した建物の景観改善、お洒落な街を演出し若者の定住促進につなげる、市外から人を呼ぶための新たな多久市の観光資源にする等です。本パンフレットとウェブサイトには、ウォールアートの写真だけでなく、作家さんの紹介と作品のレビューを掲載しました。「アートがよくわからない」という方も、描かれた作品の意味や作家さんの経歴・コンセプトを知ることによって、新たなアートの楽しみを見つけることが出来るかもしれません。「アートのまち、多久」私たちは、壁画100箇所、日本一のウォールアートの街を目指します。



2 吉田輪業

3 富亀和旅館

4 お茶の田代園

5 深山生花店(倉庫)

6 和醸良酒とりごえ(表玄関)

7 和醸良酒とりごえ(裏通り)

8 居酒屋心(国道沿い)

9 居酒屋心(看板)

11 Art studio ボンドバ

12 ふとんのたじま

13 高橋時計店

14 衣料の大庭

15 カクテルハウス からつや

16 クラブ美容室

17 京町2丁目(T邸)

18 かけばやし本舗

19 焼き鳥潤

20 砂原(旧シマムラ観賞魚店)

21 都通り(バラ園)

22 京町1丁目(K邸)

23 京町1丁目(旧大和和装)

24 あざみ苑駐車場

26 都通り(I邸)

27 砂原(I邸)

28 京町1丁目(Y邸)

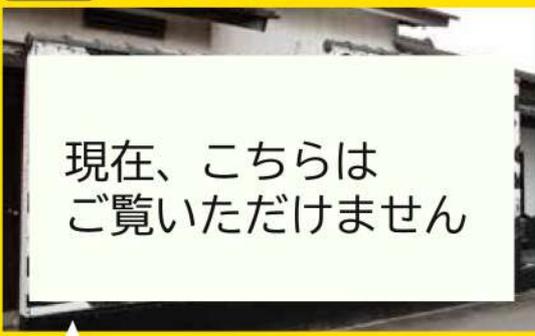
29 吉原鮮魚店

30 砂原(M邸)

31 多久駅北口

MAP No. 1 Barばらーど

壁画

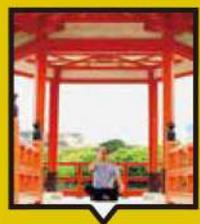


早川 康司
www.facebook.com/kazu.hayakawa
(from. 久留米)

多久市で人気の本格JAZZ BAR「BAR ばらーど」。筋金入りのJAZZ好きマスターはとっても気さくで音楽の話や手品を披露してくれる。商店街の入り口に位置する店舗の壁面にはJAZZYなアートという構想はウォールアート企画が立ち上がった当初からあり、JAZZバンドアーティストの画を描く久留米のアーティスト「早川康司」氏にペイントを依頼した。モノクロでシックなイメージだが刷毛のスピード感ある筆跡でダイナミックに描かれたクリフォードブラウン(Cr)、アートブレイキー(Dr)、カーリーラッセル(Ba)、ホレスシルバー(Pi)のカルテットの演奏風景がお洒落でブラックな一夜を演出する。

MAP No. 5 深山生花店(倉庫)

シャッターアート



WOK22
http://www.wok22.com/
(from. 福岡)

京町商店街の入り口にある深山生花店(倉庫)。深山生花店の店内には色とりどりの花とめずらしい観葉植物が多く並ぶ多久市内外で人気の花店。日本にも数少ない希少な植物を貯蔵する秘蔵倉庫のシャッターアートを、福岡を拠点に台湾・韓国・タイなどアジア圏で活躍するペインター「WOK22」に依頼した。グリーンを基調とし、WOK22が多用する傾向ピンクとブルーへ変わるグラデーションの背景の上に描かれた絵画の中心には手のひらのモチーフと多肉植物の「アガベ」が描かれた。

MAP No. 2 吉田輪業

シャッターアート



Cigarette Burns
www.cigarette-burns.com
(from. 福岡)

元自転車屋のシャッター3枚分のアート。オーナー様はトランペット奏者でもあるため、自転車と音楽に関するモチーフを取り入れたアートを、一点物をコンセプトに画を描く福岡で人気の作家「Cigarette Burns」に依頼した。Cigarette Burns曰く、シャッターも洋服と同じように使用することでアートに加わるダメージが作品を時間の経過の中で完成させていくのだ、とのこと。まさしく、シャッターアートに相応しいコンセプチュアルアートである。ビビッドな配色も彼の作品の特徴の一つだが、この作品が描かれたことで商店街が突然明るくなったという好感想を多数いただいた。

MAP No. 6 和醸良酒とりごえ(表玄関)

壁画



山口 佐由理
www.facebook.com/sayuri.yamaguchi.90
(from. 佐賀)

多久市で人気の居酒屋和醸良酒「とりごえ」の正面入り口上部描かれた横長の絵画。春夏秋冬をイメージした花や動物などが繊細に描かれている。優しい色使いと細やかな描画は店舗正面を華やかに彩り、左から右へ流れるような四季の移り変わりは、気さくなオーナーさんに似合った、一年通しての賑やかな店づくりを象徴しているかのようである。近くを通ったらぜひ一度少し上を見上げ立ち止まって欲しい。

MAP No. 3 富亀和旅館

壁画



武内 慧, 牛丸 和人, 念園
www.facebook.com/kei.takeuchi.790
www.facebook.com/kazuto.ushimaru
www.facebook.com/yuyatonamazu
(from. 多久, 多久, 唐津)

駅前通りに位置する多久市の老舗旅館「富亀和旅館」。旅館の名前に因んだ長寿で目出度い生き物「亀(玄武)」をモチーフとして取り入れた和テイストの壁画が完成した。3名の日本画家、彫師、ペン画家が出かけた本合作は絵柄が繊細で細線や点描などが丁寧に描かれており、赤い亀を念園、青井亀を武内慧、亀甲文様とボタンを牛丸和人がそれぞれ担当し合体させた。制作にかかった期間は丸5日間。「描きながら三人でお互いのアートに対する考え方や、多久をアートで活性化していくためのアイデア、その他諸々の話ができただけがとてもよかったです。また、どこかを描かせていただければ三人でチャレンジしたいです!」とのコメントを頂いた。

MAP No. 7 和醸良酒とりごえ(裏通り)

壁画



BAKIBAKI
http://www.yamaokahei.com/
(from. 大阪)

都通りに細い路地への入り口がある。奥へ進むと赤提灯の連なる長いブロッグ塙が現れる。和醸良酒とりごえの隠れ家的スペース「うらとりごえ」だ。オリジナルの創作和食と美味しい酒が存分に楽しめるとりごえのバックストリートには、日本を代表する大阪のライブペインター「BAKIBAKI」氏にペイントを依頼した。BAKIBAKI氏独自の紋様、通称「BAKI柄」がよく似合うと思ったのだ。大中小のBAKI柄に鮮やかな赤が映える幅8メートルの壁画は夜の裏通りを明るく照らし、にぎやかな祭りの雰囲気を感じさせる。市民の毎週末の盛り場とりごえにマッチしたアートだといえるだろう。

MAP No. 4 お茶の田代園

壁画



Shygehis
www.facebook.com/es1209matzuda
(from. 福岡)

京町商店街と交わる都通りにある「田代お茶園」の外壁。オーナー様の意向で派手すぎる絵画は趣味ではないとのこと、わびさびを感じさせる抽象的な絵柄を描く福岡の作家「Shygehis」に依頼した。「水象不渡月(水象にして月を流さず)」からインスパイアされたという本作。灰色は雲、赤丸は日、緑は山、茶畑をイメージして、両脇にお茶の葉を配置。「時代も取り巻く環境も雲の様に流れ過ぎ変わる。しかし、太陽のように時代や環境が変化しても変わらず、日々を照らす存在であり続けたい」と思う僕自身の思いと、そうあってほしいという僕なりの願いの両方を込めました。」というShygehisからのコメントがある。

MAP No. 8 居酒屋心(国道沿い)

壁画



池田 明後日
www.facebook.com/macro.mauro
(from. 佐賀)

フードウェイ向かう道と国道が交わる多久市の中でも交通量の多い交差点、信号待ちで停車した車が必要にするであろう雲の壁画。焦茶色のトタン板に書かれた浮雲は、「目に見るがつかむことができないもの」をコンセプトに作家活動をする多久市在住の「池田明後日」の作品。お客様や幸運が雲に乗ってやってくるようにという想いが込められている。居酒屋「心」を象徴する個性的な筆文字のタイプロゴと浮雲が調和し流さるを醸し出した。居酒屋心のおすすめメニューは、ニンニク多めの鳥皮とチャンポン。笑顔が素敵なマスターにも是非会いに行ってみよう。

MAP No. 9 居酒屋心(看板)

看板



富永ポンド
www.bondgraphics.com/
(from. 多久)

国道沿いの大きな交差点角に佇む居酒屋心の入り口上。多久市で一番交通量の多いであろう交差点に、過去最大サイズの「RING」が出現した。RINGとは、富永ポンドの掲げるボンダグラフィックスの概念に基づいた作品の創作カテゴリのひとつで、人の輪のつながりを意味した抽象画だ。居酒屋心のマスターと奥さんはとても気さくで、一度飲みに行っただけで誰もが楽しく元気に仲良くなれる親しみやすさがあり、そんなお店の温かい特徴を反映したまさしく心の上に出来た人の輪を示す巨大なコンセプトアート看板である。

MAP No. 13 高橋時計店

シャッターアート

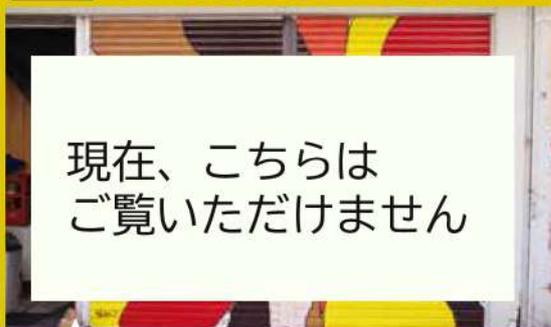


Sin Kanako
http://sinkanako.com
(from. 佐賀)

京町商店街の入口にある「高橋時計店」のシャッター3枚には、中学校の美術の教師をしていた「Sin Kanako」さんに依頼した。オーナーさんによる、作家リストからの選抜である。「メルヘンで明るい画」をテーマにラフ面制作を依頼。3人の女の子のお孫さんがいらっしやるということで、3人の女の子が楽し気に遊んでいる様が描かれた。Sin Kanakoさんの教え子ら合計約5名で作業がなされ、画面の大きさやシャッターの表面の凸凹なものにも関わらず非常に細かく書き込まれており、その繊細さと完成度を生で確認していただきたい。

MAP No. 10 和醸良酒 とりごえ (シャッター)

シャッターアート



富永ポンド
www.bondgraphics.com/
(from. 多久)

和醸良酒「とりごえ」の正面入り口このシャッター2枚に、多久市にアトリエ「ポンドバ」を構える画家「富永ポンド」がペイントした。空かずのシャッター2枚には「人の気」をイメージしたうねる放射線状の線柄が描かれ、色と色の間を立体的な黒いラインが縁取る。黒ラインを描く際、普段は独自で作った黒い木工用ポンドを仕様する彼だが、雨と直射日光に耐えるため今回は防水・耐熱仕様の黒いコーキング(シリコン)を仕様し描かれた。太陽にも似た温かい配色のシャッターアートは今後の京街商店街を明るく照らし続けるだろう。

MAP No. 14 衣料の大庭

シャッターアート



坂本 鷹也
http://www.sakatakaya.com/
(from. 飯塚)

年度末、突然の依頼を飯塚市在住の作家「坂本鷹也」さんに受けて頂いた。27年度のプロジェクトで描いた壁画の中ではおそらく最大のサイズであるシャッター4枚分(幅およそ8メートル)を二日間で描き上げた坂本さんの巨大画は、オーナーの大庭さんの依頼であった「春と秋の風景画」。晴れ渡る空の下、左から右へ春から秋の彩りが大胆に画描かれた画面内には、桜のピンク、イチヨウの黄色、モミジの赤、空の青、各々の季節が持つ色彩が調和し、またひとつ京町商店街に明るさと華やかさを飾った。

MAP No. 11 Art studio ポンドバ

壁画



富永ポンド
www.bondgraphics.com/
(from. 多久)

2014年7月に開店した、木工用ポンドで画を描く画家「富永ポンド」のアトリエ「Art studio ポンドバ」の構壁面。ボンダグラフィックスの概念に基づいた本作は、人と人のつながりをテーマに一年に一度だけ描かれる大作「The Unique of Human」の2014年のもので、一年の期間を経て少しずつ描かれ本年(2016年3月)遂に完成した。黒の立体的な線には通常「黒く染めた木工用ポンド」が画材として使用されるが、屋外設置のために今回は耐熱・耐水性のある特殊な黒いシリコンコーキングが使用された。

MAP No. 15 カクテルハウス からつや

壁画



Gravityfree
http://gravityfree.jp/
(from. 東京)

都通りで人気のBAR「カクテルハウスからつや」の入り口横壁面には、全国の野外フェスや音楽イベント、海外でも活躍中のライブインテナー「Gravityfree(グラビティフリー)」のお二人に制作を依頼した。からつやの店内には、登壇してカラオケを歌うことができるステージもあり、マスターとママのお二人も音楽好き。酒と音楽で賑わう酒場をテーマに、Gravityらしい多色彩と人々が混ざり合うどこか不思議な構成の、何とも楽しげな壁画が完成。夜間、壁画にはスポットライトが当てられ目立っている。飲み歩く人たちはきっと、この壁画を横目に満面の笑みで次の店へと向かうのだろう。

MAP No. 12 ふとんのたじま

シャッターアート



ジャスミン・陳
www.facebook.com/chengchen.1983
(from. 福岡)

3枚のシャッターに描かれた3匹のバグが、楽しげな表情でふとんを被りじゃれあっている。福岡を拠点に活動する作家「ジャスミン」は、本シャッターアートを下地塗りから仕上げまで2日で描きあげた。ラフ面の提出も早かった。そしてとにかく上手い。オーナーさんは制作時のことを嬉しそうにお話してくださり、ジャスミンの人柄と作品を自慢げに話してくれた。これまで抽象画が多かったが、具体的なモチーフが描かれたのはBARばらーどと2件目。こういった伝わりやすい具象画が進行く人の話のきっかけになれば幸いだ。

MAP No. 16 クラブ美容室

壁画



倉崎 稜希
https://ryokikura.wixsite.com/ryoki
(from. 福岡)

国道沿いにあるクラブ美容室の壁面は大きく、遠目から見ても目立つ。オーナーさんは快く本プロジェクトにご賛同くださり、壁面を提供してくれた。作家リストから女性と花をモチーフに描いてくれる作家をピックアップ。福岡で人気の若手作家、倉崎さんに創作を依頼した。創作画面は2階部分だったため、三段の足場を準備。高いところに描いたことによって、さらに遠目からも見ることが出来る素敵な作品が仕上がった。夜間の時間帯は、オーナーさんのご厚意によりスポットでライトアップされ、まるで国道から多久市の明るい未来を見つめる女神のようである。

MAP No. 17 **京町2丁目 (T邸)**

シャッターアート



ジャスミン・陳
www.facebook.com/chengchen.1983
(from. 福岡)

Tさんのご自宅のシャッターには、中国出身で現在は福岡在住のアーティスト、ジャスミン・陳に創作を依頼。ご主人はバイクと犬がお好きとのこと、絵画のモチーフや構成の打ち合わせを行い、ご主人のご希望通り、バイクの波さどワンちゃんの可愛らしさが融合したシャッターアートが完成した。バイクのカラフルな色彩はジャスミンのアドリブ。京町商店街の1丁目と2丁目をつなぐ裏路地が華やかに彩られた。

MAP No. 21 **都通り (バラ園)**

看板



倉崎 稜希
https://ryokikura.wixsite.com/ryoki
(from. 福岡)

都通りには素敵なバラ園がある。こちらのスペースでは、イベントが開催されることもあり、都通りの憩いの場となっている。バラと女性をモチーフに描いてくれたのは、福岡の若手クリエイター倉崎さん。大きさは1800mm×900mmのパネル一枚分と、さほど大きくはないが、木々に囲まれるように配置されたアーティストチックな看板は、華やかなバラ園に文字通りの華を添えた。繊細なタッチで描かれる彼の作品を間近でみられるのは、本プロジェクトでは本作のみ。ぜひお近くでご覧いただきたい。

MAP No. 18 **かけばやし本舗**

壁画



高木 成
(from. 多久)

多久市の名物「岸川まんじゅう」の老舗、製菓と販売が京町商店街の当該店舗で行われている。店舗横の巨大な壁面に創作を依頼したのは多久市在住の美容師でイラストレーターの高木 成(ジョー)さん。ジョーさんは、似顔絵イラストレーションやデザインも得意で、地元を盛り上げようと、多久市名物の岸川まんじゅうをゆるキャラ化した「多久まんちゃん」をかけばやし本舗さんに提案。グッツ化もされた。色とりどりの岸川まんじゅうに扮する多久まんちゃんが壁面いっぱいに敷き詰められたユアモア溢れる壁画が完成。ぜひ、おまんじゅうを食べながらご覧いただきたい。

MAP No. 22 **京町1丁目 (K邸)**

壁画



澁谷 忠臣
http://tadaomishibuya.jp/
(from. 東京)

京町商店街のちょうど真ん中あたりに位置するKさんのお宅。Kさんはサッカーが好きで、スポーツ選手を描いて欲しいとのこと依頼があった。創作を依頼したのは、全国的に著名なアーティストでイラストレーター「澁谷忠臣」さん。某有名なスポーツブランドとも度々コラボレーションされており、私も昔から大好きな作家さん。顔が大きく描かれた本作は迫力満点で、インスタ映えスポット間違いなし。京町商店街を彩る新たなアイコンといっても過言ではないだろう。

MAP No. 19 **焼き鳥 潤**

壁画



BON ART STUDIO
https://bon-artstudio.jimdo.com/
(from. 熊本)

多久市中心市街地の国道沿いに位置する人気の焼き鳥居酒屋。カウンターはいつも満席で、飲みに行くに気さくなマスターが笑顔で出迎えてくれる。唐津から佐賀へ向かう方面から見る事ができる本作は、熊本から「BON ART STUDIO」の福井さんを招聘。ポップなイラストレーションを得意とする彼には、マスターが大好きな野球モチーフの作品創作を依頼。間志で魂が燃えている強打者のアートワークは力強く男らしいイメージだが、福井さんらしいカラフルな配色でインパクトのあるポップアートが完成した。

MAP No. 23 **京町1丁目 (旧大和和装)**

シャッターアート



池部 貴恵
https://kiekebe.tumblr.com/
(from. 宮崎)

京町商店街の中心に位置する大きなシャッター。昔は和装の商店を営まれていたHさんは、長年ピアノの先生もされており、鍵盤をメインのモチーフに構成。作品を描かれた作家さんは宮崎在住のアーティスト池部貴絵さん。みやざきアートセンターで職員をしながら作家活動をしている。植物をモチーフに作品を描かれることが多く、今回の作品にも鍵盤プラス植物を取り入れていただき、和やかでポップで可愛らしい、生命力溢れるシャッターアートが完成した。

MAP No. 20 **砂原 (旧シマムラ観賞魚店)**

シャッターアート



CARP
www.facebook.com/takuya.kanazawa.1000
(from. 福岡)

元は観賞魚を販売されていたシマムラ観賞魚さんのシャッターには、立身出世の象徴である「鯉=CARP」をモチーフに絵を描くアーティスト「CARP」に創作を依頼した。広島出身で福岡在住の彼は、何度も何度も現場に通っていただき、その度に雨や台風に見舞われ、絵の具が流れたり、修正しなくてはならなかったりと、作業は難航していた。最終的には彼のお母さんにまで手伝っていただき、大変なお苦勞をお掛けした。心から感謝申し上げたい。シマムラ観賞魚さんは、現在は骨董品とメダカを販売されている。他にはない、なかなか珍しいコアな商店。ぜひ一度足を運んでみて欲しい。

MAP No. 24 **あざみ苑 駐車場**

壁画



小野 留依聖
http://luiseano.com/
富岡 美紀
http://tamioka-miki.tumblr.com/
(from. 東京)

厳木へ向かう途中の国道沿いに、横長に目立つ壁面がある。元はガソリンスタンドだったのだろうか。壁面の塗装は剥がれており、見た目があまり良くなかった。現在は近隣の葬儀場「あざみ苑」の臨時駐車場として管理されている。葬儀場のため、派手すぎるもしくは楽しさや賑やかさを演出する壁面は不適切とのことで、多久市の観光名所「二千年運」と「金魚」をモチーフに、流れるような構成と安らぎの彩りで作品を手掛けて頂いたのは、東京のペインター小野さんと富岡さん。壁面が大きいだけに、創作期間も長く、ご苦勞をお掛けしました。

MAP No. 25 **ボンバ横 空き店舗**

シャッターアート

現在、こちらは
ご覧いただけません



Mars
www.facebook.com/mars813
(from. 久留米)

中心市街地エリアの端、Art studioボンバの隣にシャッター6枚分の空き店舗がある。シャッターは錆び、茶色く劣化していた。今回、創作を依頼したのは、久留米市のペインター「Mars」彼は作画が上手いのはもちろん、描くスピードが早い、本作は3日で仕上げた。ずっとオフアートを続けていたが、家主さんとのマッチングが上手くいかず、念願叶ってのブッキング、生命力溢れる動物をモチーフに絵を描くことが多い彼は、横長の画面に夕暮れ時のサバンナを描いた。大型スーパーに続く道路沿いのため交通量が多く、動物たちは多くの人たちの目に触れ続けるだろう。

MAP No. 29 **吉原鮮魚店**

壁画



珠筆絵師 念図
www.instagram.com/wreckerz_co/
(from. 唐津)

京町2丁目にある鮮魚店。オーナーさんに店舗西側の壁に「七福神の中の1人である恵比寿様」を提案し、唐津市出身のボールペン画を主に活動している作家「念図(なます)」に依頼。恵比寿様は外来の神、漁業神とも言われている。恵比寿様の左脇に抱えている鯛が豪快に書かれており、鮮魚店のイメージに非常にマッチした作品が完成した。国道203号からもしっかり見える高さ3メートル幅4メートルの巨大な壁画となり、インパクトも絶大である。

MAP No. 26 **都通り (I邸)**

シャッターアート



瀬戸口 優子
(from. 巖木)

飲食店が立ち並ぶ「都通り」の一角に個人所有の空き店舗の車庫があり、毎週、火曜と木曜日の午前中に生鮮品など取り扱う「青空市」が開催されている。オーナーさんより誰でも立ち寄りやすいよう明るく可愛らしい作品を希望された為、静物画・肖像画を得意とする多久市出身作家瀬戸口優子氏に依頼した。作品は大きな木が2本あり、その周りに椅子、鳥、花、動物などが描かれており作者の人柄まで伝わってくるような程やかで暖かみのある作品となっている。テーマに沿ったアートと言えるだろう。

MAP No. 30 **砂原 (M邸)**

シャッターアート



牛丸 和人
https://www.facebook.com/kazuo.ushimaru
(from. 多久)

砂原バス停の東側にある個人邸。道路を挟んだ北側旅館には以前、描かれている玄武がある為、オーナーさんに提案したのは3枚のシャッターに残る中国古来の四神である東の青龍・南の朱雀・西の白虎。作家は多久市在住の大学教授、牛丸和人氏に依頼。佐賀美術協会の理事でもあり、これまでも美術に関する様々な賞を受賞されている。特に朱雀に関してはインスタ映えを考慮し、天使の羽と同様の構成を行っており、今後の多久市の新たなスポットになる作品となっている。

MAP No. 27 **砂原 (I邸)**

シャッターアート



瀬戸口 優子
(from. 巖木)

旧国道沿い空き店舗がある。ここは飲食店が立ち並ぶ「都通り」の入口ということもあり、オーナーさんより明るい華やかな風景画の作品を希望された。そのため静物画・肖像画を得意とする多久市出身作家瀬戸口優子氏に依頼した。作品のテーマは「自然の空気」。山と森を背景に大木と草花たち、湖畔揺らぐボートと魚、ピクニックなどを描き、自然の豊かさを表すものである。またひとつ「都通り」の入口に明るさと華やかさがある作品が加わった。

MAP No. 31 **多久駅北口**

壁画



富永ボンド
www.bondgraphics.com
(from. 多久)

あいばれっとの入り口横に幅5メートル、高さ6メートルの巨大な壁画がある。駅のホームからも眺めることができる本作は、人の道をイメージして描かれた富永ボンドの絵画シリーズ第7章LINES。ふたつと同じものがない、人ひとりの人生をカラフルな一本の線に例え、人と人の道を独自の画材「黒いボンド(今回は屋外のため黒いコーキング剤を使用)」でつないだ。まちづくりとは、街をつくることではなく、地域で生活する人たちが日々の何気ない生活を笑顔で豊かに過ごすこと。生き生きと生きる人たちの人生のつながりが、地域活性化へと導くのだ。

MAP No. 28 **京町1丁目 (Y邸)**

シャッターアート



珠筆絵師 念図
www.instagram.com/wreckerz_co/
(from. 唐津)

京町1丁目商店街の自宅シャッター。鮮魚店を営むオーナーさんの自宅である為、オーナーさんに「波間を豪快に跳ねる鯛」を提案した。依頼したのは唐津市出身のボールペン画を主に活動している作家「念図(なます)」。念図の特徴は人間の感情を取り入れた作品が多いのだが、シャッターアート初挑戦となった今回は、オーナーさんの希望である鯛が活き活きと勢い良く跳ねる姿が描かれており、これまでの念図の作品とは違う魅力が凝縮された作品となっている。

多久市ウォールアート
プロジェクト ホームページ



検索 **多久 ウォールアート**
www.wallart-project.com